

近年のバスターミナル整備の事例紹介

バスタ新宿

○ 19箇所に点在していた高速バス停を集約し、鉄道駅とも直結する総合交通ターミナルとなる「バスタ新宿」を整備（H28.4オープン）

19箇所に点在していた高速バス停を「バスタ新宿」に集約



高速バス、タクシー、鉄道が直結、乗り換えがスムーズに



4F

高速バス乗降場、待合室、
インフォメーションカウンター

バスタ新宿（日本最大のバスターミナル）



タクシー乗降場、観光情報センター



3F

JR新南改札口



2F

甲州街道(国道20号)

高速バス利用者数 : 平均 約2.9万人/日
(最大 約4.1万人/日)
 高速バス発着便数 : 平均 1,491便/日
(最大 1,720便/日)
 高速バス運行会社数 : 117社

■ 国道15号品川駅西口駅前広場

道、駅、まちが一体となった都市基盤の整備を進め、
「世界の人々が集い交わる未来型の駅前空間」の創出

◆ 次世代型交通ターミナル

品川駅西口駅前広場の将来の姿



※「国道15号・品川駅西口駅前広場 事業計画(概要)」より抜粋

2019年4月 新規事業化
⇒ リニア開業時(2027年)の概成を目標

■ 国道2号等 神戸三宮駅前空間

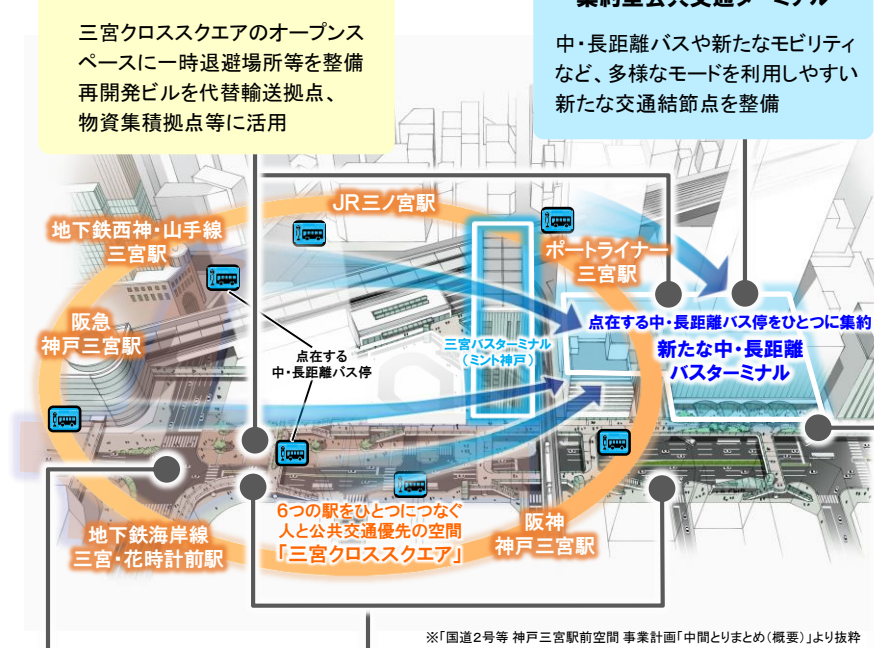
ひと・モノ・交通が行き交う新たな“港”
未来型駅前空間の創出

防災都市・神戸の駅前防災拠点

三宮クロススクエアのオープンスペースに一時退避場所等を整備
再開発ビルを代替輸送拠点、物資集積拠点等に活用

集約型公共交通ターミナル

中・長距離バスや新たなモビリティなど、多様なモードを利用しやすい
新たな交通結節点を整備



※「国道2号等 神戸三宮駅前空間 事業計画「中間とりまとめ(概要)」より抜粋

魅力的な駅前空間を創出する 三宮クロススクエア

道路を人と公共交通優先の空間に転換する「三宮クロススクエア」により、「ひと」中心の空間を地上に整備

回遊性を向上させる モビリティネットワーク

道路や神戸三宮駅前空間の回遊性を向上させる
新たなモビリティネットワークを構築

人の賑わいと回遊性を 創出するデッキ

三宮クロススクエアと再開発ビルが一体となった賑わい空間の創出
や神戸三宮駅前空間の回遊性を向上するためのデッキを整備

2019年8月 事業計画「中間とりまとめ」公表
⇒ 事業計画の策定に向け、地域において検討中